

施工・取扱説明書

このたびは弊社二重床をご採用いただきありがとうございます。
製品の特性を十分に生かし、安全で美しい仕上がりに施工して
いただくために本書をよく読み、正しくお取り扱いください。

(お問い合わせ先)
販売元：万協株式会社
TEL：03-5424-0707
製造：泰成株式会社
TEL：0265-83-1138
商品仕様は予告なく変更することがあります。
取替えパーツ供給可能期間は生産中止から10年です。

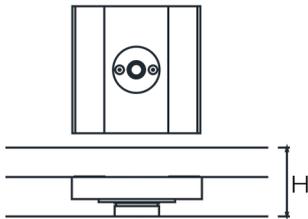


注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物質的損害の発生が想定される内容を示しています。

梱包内容の確認

■ TIA 型支持脚



※標準入数の半数未満は、接着剤別売となります。
※'床パネル厚さ20mmの適応床高を示します。

品番	※' 適応床高 (H) mm	標準入数(本)
TIA-50	45-55	100

支持脚の床高調整は、適応床高より低くすることもできますが、床下に25mmのグラスウールを入れるため、グラスウールの厚みで支持脚が浮く可能性がありますので、最低床高45mm(床パネル天端)を順守して施工してください。

- 施工・取扱説明書(本書) 1部
- 接着剤(BA-400又はBA-200)
冬季など低温度、乾燥時には硬化しにくい場合がありますが、品質に問題は有りません。



注意

接着剤のラベルに書かれている注意事項をよく読んでご使用ください。

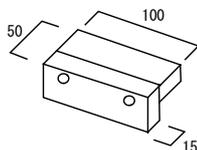
別途用意するもの

- ①床パネル(万協指定パーティクルボード F☆☆☆☆)
床パネルは濡らさないで下さい。
- ②グラスウール厚25mm×幅910mm×長さ22m
密度(24kg/m³)
- ③捨張り合板(必要な場合のみ)
- ④釘及びビス
 - ・床パネル固定用 スクリューネイル又はコーススレッド
半ねじフレキ付き
台座の厚さは15mmになりますので長さ32mm使用。
 - ・捨張り合板固定の注意

注意 9mm未満の合板を使用する場合、釘・ビス等が合板を突抜け、合板の浮きが発生する恐れがありますので充分注意願います。

- ⑥ガムテープ
- ⑦施工工具一式
 - ・電動丸鋸
 - ・インパクトドライバー
 - ・カッター
 - ・スケール
 - ・掃用具(ほうき、ちりとり)
 - ・釘打ち機(コンプレッサー)
 - ・水平器(又はレーザーレベル)
 - ・ドライバー
 - ・水糸

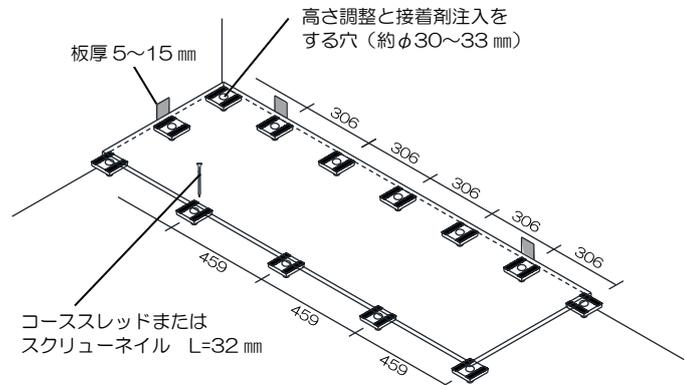
- ⑧隙間ゲージ
厚さ15mmの合板又は木材で、右記形状のものを4個以上作ります。



施工前に床コンクリート面を清掃してから始めます。

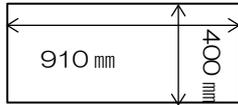
- ① 床パネルとグラスウールの敷き込み

- ア) 壁際は支持脚受けになります。
- ・壁際の支持脚は約300mmピッチで床パネルに取り付けます。(床パネルの短辺は約308mm、長辺は約306mmピッチ)
 - ・床端部に支持脚を取り付ける際に、レベル調整及び接着剤注入用の穴(約Φ30~33mm)をあけます。
 - ・支持脚をビスまたは釘で固定します。



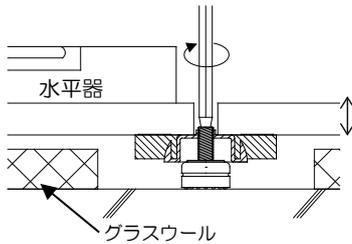
- イ) 床パネルと壁との間に約5~15mm間を設けます。支持脚の剥離紙を剥がし、一般部は459mmピッチで床パネルの側面と台座テープが直交する向きで貼り付けます。
- ウ) 22m(ロール)のグラスウールを標準サイズ400mm

×910 mmにカットして敷き詰めてください。グラスウールはパーチの中央に配置して周囲の台座が接触しないように必ず隙間を取って、パーチと同時に施工します。また、床パネル幅が細くなれば400 mm方向のグラスウールをカットして周囲の台座に接触しない寸法にしてください。但し、グラスウール最小寸法は100 mmで、台座との隙間が左右30 mm取れない場合は、グラスウールを敷き詰める必要はありません。

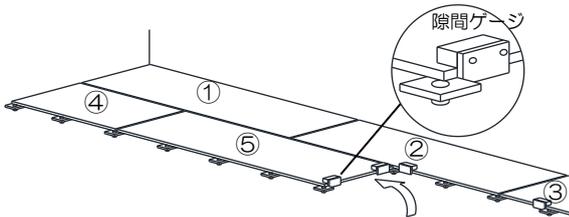


標準サイズ 400×910 mm

工) 床パネルに水平器を置き、ボルト部を回して床パネルを水平に調整します。

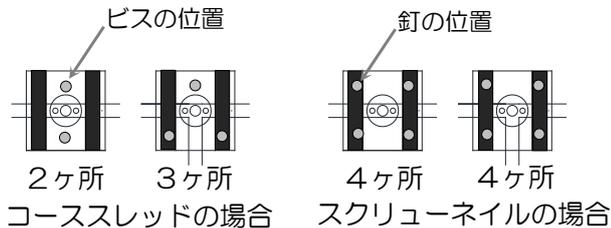


オ) 2枚目以降の床パネルは15 mmの隙間(目地)を開けて敷きこみます。この時、隙間ゲージを使用して下さい。床パネルは、短手方向に張っていきます。(下図の①~⑤の順番)張り仕舞いで、床パネルの幅が200 mm以下になる場合、前列の床パネル幅をカットし、200 mm以上して下さい。



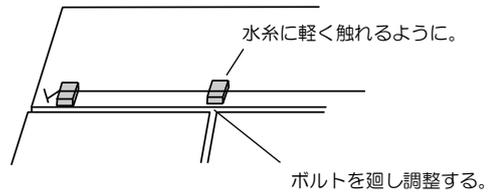
② 床パネル固定

床パネル上からスクリーネイル又はコーススレッド(長さ32 mm)を打ち固定します。下図の位置に打って下さい。



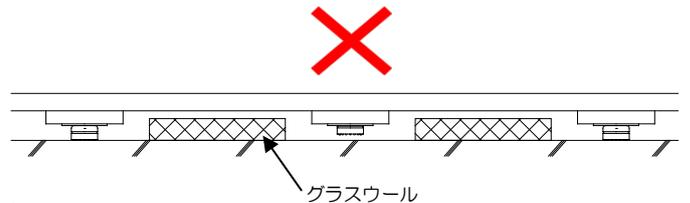
③ レベル(床高)調整

- 壁際を基準として床パネルの目地に沿って水系を張り、両端にスペーサ(同じ厚みのもの)を挟み、もう一つスペーサを用意して、床パネルと水系の間にあてます。ボルトを回しスペーサが水系に軽く触れる高さに調整します。床パネルの水平は出来る限り保って下さい。
- レーザーでレベル調整する場合は、かね尺等を使用し、レベルを確認しながら高さを調整して下さい。



④ 点検

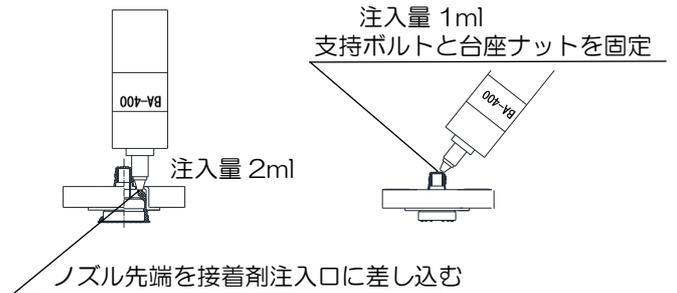
- 床全体を歩いて支持脚の「浮き」が無いか確認します。
- 支持脚上を歩いて他よりも柔らかく感じたら浮いている可能性があります。
- 浮いている箇所を発見したら、スラブ面に支持脚が接地するまでボルトを廻して下さい。
- また支持脚固定のビス、スクリーネイルの打ち忘れがないか確認して下さい。



⑤ 接着剤注入

支持脚の上から接着剤を注入します。接着剤が固まるには1~2日かかります。

⑥ 接着剤の注入量、注入箇所は下図の通りです。



注意 ノズルの先端から約3 mm以内をカットしたノズルを接着剤注入口に差し込んで2ml注入し、スラブとゴムを接着固定します。支持ボルトと台座ナットの固定は、ボルト部付近に1ml塗布して接着固定します。

注意 接着剤が硬化するまで床上に重量物を置かないで下さい。また、人の歩行も避けて下さい。

⑦ 床パネルの目地をふさぐように、養生テープを貼ります。但し、捨張り合板をする場合は、必要ありません。

⑧ 捨張り合板およびフローリングの施工

床パネルと直角に貼って下さい。床パネル目地と捨張り材の継ぎ目が重ならないようにして下さい。